

臺灣總督府  
臨時情報部

# 報部

昭和三十三年十二月十一日

昭和十二年九月二十日第三號  
昭和十三年十二月十一日發刊  
(毎月一日、十一日、廿一日發行)

地方長官打合會に於ける訓示

(臺灣總督)

地方長官打合會に於ける訓示

(總務長官)

時局と重要礦物の増産に就て

(殖産局礦務課)

海外情報

(臨時情報部)

華僑情報

(臨時情報部)

附錄 事變日誌

第四十六號



# てぜのを香の國祖



戦功勇士が笑顔で食へる

此の餅搗は我等の手で

聖戦第二年の春を異郷の戦地で迎へる兵隊さん達へ送るお正月の雑煮餅や鏡餅は私達大和撫子の手で作らう。今臺北市内の第一、第二、第三、家政、静修、女子高等、吉見、壽美禮の各女學校の生徒達は毎日交るく健氣にも優しい日本女性の心情をこめてエプロン姿も甲斐々々しく搗くもこねるも赤心こめて！  
新しく出来上つた力餅を送るに添へて水莖の跡も鮮かに

高砂の乙女心をこめたるお餅

可愛氣もちで召し上げ

搗いた日本の乃し餅食べて

のして下さい支那の國

(高砂は第一高女の奉仕作也)

# 地方長官打合せニ於ケル訓示 (十二月一日)

臺灣總督 小林 躋 造

本日茲ニ各位ノ會同ヲ煩ハシ當面ノ要務ニ關シ所見ヲ披瀝スル機會ヲ得タルハ本官ノ深ク欣幸トスル所デアリマス

恭シク惟ルニ今次事變勃發以來茲ニ一年有半長クモ

天皇陛下ニ於カセラレテハ日夕國事ニ御軫念遊バサレ而カモ天機愈御麗ハシキ御模様ヲ拜

シ奉リ又 秩父宮殿下ヲ始メ各宮殿下ニハ竹ノ園生ノ尊キ御身ヲ以テ親シク戰線ニ臨マセ

給ヒ將兵ト共ニ辛苦ヲ分タセ給フコトヲ拜シ奉リマスコトハ國民ノ齊シク恐懼感激ニ禁ヘ

ザル所デアリマス

今ヤ御稜威ノ下皇軍將兵ノ勇戰奮闘ニヨリ廣東、武漢相次デ陥落シ偉大ナル戰果ヲ收メテ

事變ハ愈新段階ニ入り東亞新秩序ノ黎明ヲ確認スルニ到リツツアリマスコトハ洵ニ御同慶

ニ堪ヘナイ所デアリマス我々ハ此ノ偉大ナル戰果ヲ收メタル將兵各位ノ勞苦ニ對シ衷心

ヨリ感謝ヲ捧グ之ニ酬ユルノ途ニ於テ遺憾ナキヲ期セネバナラヌト存ズル次第デアリマス

去ル十一月三日政府ハ聲明書ヲ發表シ現下ノ時局ニ處スル帝國不動ノ方針ヲ明ニシ國民ノ

體トベキ所ヲ示サシメテ抗ヲデアラマスガ抗日容共政策ヲ改メザル國民政府ヲ潰滅スルコト素

ヨリ一朝一夕ノ事業デアリマセヌ況ンヤ東亞永遠ノ安定ヲ確保スベキ新秩序ノ建設ハ長

期ニ亘ル曠古ノ大業デアリマス我々生ヲ當代ニ享ケテ此大業ニ參加スル光榮ヲ擔フ國民ハ

此際愈皇國ノ大精神ヲ發揚シ其ニ一致結束第一線ニ在リタル凡ユル艱苦缺乏ヲ物トモセズ勇戰

奮闘スル將兵ト相呼應シテ此ノ聖業ノ達成ニ邁進セネバナラヌデアリマス中央ニ於テモ

此態勢ヲ造ル爲ニ計畫ガアル様デアリマス本島ノ如ク特種ノ地位ノ事情ニ在リマス

處ゾハ益島民ノ善導ニ努メ聊モ歸趨ヲ誤ルガ如キ者ナキ様各位一段ノ御努力ヲ望ムデ止

マセヌ

三 我ガ無敵皇軍ノ活躍ハ南支ニ及ビ去ル十月眞ニ疾風迅雷耳ヲ掩フ遑無キ間ニ蔣政權ノ搖籃

ノ地タル廣東ヲ攻略サレ去ル五月ノ厦門占領ト併セテ南支ヘノ門戸ガ啓開セラレタル感ガ

致スデアリマス之ハ本島ノ地理的使命ニ鑑ミテ重大ナル意義ヲ藏スルモノト申サネバナ

リマセン素ヨリ占領日尙ホ淺ク治安維持ノ全キ地域モ未ダ廣カラズ支那有力者ノ歸還モ遲

々トシテ進マヌ現狀ニアリマスルガ故ニ漫リニ小利ヲ求メテ猜遣スルガ如キ事ハ避ケネバ

ナリマセヌガ而カモ本島官民ハ此ノ眼前ノ事實ヲ正視シ新ナル覺悟ヲ以テ今後一層南支方

面ニ對スル帝國ノ國策遂行ニ最善ノ協力ヲ致サネバナラヌト存ズルデアリマス切ニ各位

少留意ヲ望ミマス

四 次ニ本島改隸以來官民協力一致克ク諸般ノ施設經營ニ盡瘁セル結果各般ノ部門ニ涉リ急遽

ナル進歩發達ヲ遂ゲ今次事變ニ際シテモ本島ノ特色ヲ十分ニ發揮シ諸般ノ國策ニ對應シテ



物心兩方面ニ於ケル總動員ノ要求ニ善處シテ居ルノデアリマスルガ近時時勢ノ進運ニ伴ヒ帝國全體トシテ著シキ經濟情勢ノ變遷ヲ來シ産業部門ニ於テモ帝國ノ本島ニ期待スル所ニ從來ト異ルモノアルヲ感ゼシムルニ到ツタノデアリマス即チ本島ノ産業政策ハ我帝國經濟勢力圈ヲ通觀シテ之ヲ計畫シ其ノ本來ノ特質ヲ活用シ國家ノ全體の見地ヨリ國力ノ伸張ニ貢獻スルノ必要ニ迫ラレテ居ルノデアリマシテ此事タルヤ平時ニ於テハ素ヨリ今日ノ如キ戰時體制下ニ於テ特ニ其ノ喫緊ノ要務タルヲ痛感致スノデアリマス

斯ノ如キ見地ヨリ本島既成ノ産業ヲ再檢討シ將來ニ於ケル發展ノ方途ヲ攻究スル爲メ關係各方面ノ權威ヲ網羅セル臺灣重要産業調整委員會ヲ開催シタ次第デアリマスルガ本島重要産業ノ調和的發展農家經濟ノ安定向上及臺灣特殊ノ産業的使命達成ヲ促進シ同時ニ我國食糧問題解決ニ寄與センガタメニハ臺灣米ノ移出管理ヲ行フ必要アリトノ結論ニ達シ其ノ方途ニツイテモ確信ト成案ヲ得ルニ到リマシタノデ目下夫々諸般ノ準備ヲ進メツツアル次第デアリマス

詳細ニツキマシテハ總務長官ヨリ指示致シマスルガ本事業ノ實施ハ本島産業政策上劃期的意義ヲ有スル點ニ鑑ミ各位ハ克ク其ノ根本趣旨ヲ認識セラレ管下一般ニ周知徹底セシムルト同時ニ事業遂行ニ一段ノ協力アランコトヲ切望スル次第デアリマス

聊カ所懐ノ一端ヲ申述ベテ訓示ト致シマス

### 地方長官打合會ニ於ケル訓示 (十二月一日)

總務長官 森岡 二朗

唯今ハ總督閣下ヨリ懇篤ナル御訓示ガアリマシタガ更ニ私ハ二、三ノ事項ニ關シ之ヲ敷衍シテ申シ述ベ特ニ各位ノ御考慮ヲ煩ハシ度イト思ヒマス

支那事變モ今ヤ武漢三鎮及廣東ノ攻略ガ成就致シマシテ新ニ建設ノ段階ニ一步ヲ踏入レタモノト見ラルルニ至リマシタ蓋シ東亞新秩序ノ建設ハ我帝國ノ大精神ニ淵源スル處デアリマシテ吾光輝アル帝國ノ責務ナルコトハ更メテ申ス迄モナイトコロデアリマス國民全般ハ益堅忍不拔ノ精神ト確固不動ノ體制ヲ以テ國民總動員ノ實ヲ舉グ所謂國家總力ノ擴充ヲ實現シ萬難ヲ排シテ帝國ノ大業達成ニ勇往邁進シ東亞共同體建設ニ參加スルノ要ガアルノデアリマス

各位ニ於ケレマシテハ時局下ニ於ケル地方當面ノ要務ハ元ヨリ將來ニ對スル其ノ嚮ラベキ所ニ付テモ慎重考慮セラレ遺憾ナキヲ期セラレ度イノデアリマス事變以來治安ノ維持、民心ノ安定、銃後ノ後援其ノ他各般ニ涉リ概ネ順調ナル經過ヲ見ツツアリマス事ハ各位格段ノ御努力ノ致ス所ニシテ其ノ勞ヲ多トスル次第デアリマスガ仍一段ノ緊張ヲ加ヘラレ度イノデアリマス

今次聖戰ノ目的達成ノ爲ニ國家ノ總力ヲ擧ゲテ之ニ當ラシメ軍需資材ノ確保、國民生活ノ安定ヲ期スル爲最近經濟統制ガ着々實現セラレ尙之ヲ運營ノ完璧ヲ期シテ經濟警察ノ官制化ヲ見

水ニ漲リマシタ從テ經濟警察ノ執行ニ當リマシテハ經濟統制ガ現下ノ時局ニ際シテ必要已ムヲ得ザルモノデアリコトヲ島民一般ニ十分ニ認識徹底セシメ進ンデ此ノ國策ニ協力スル様指導シ官民一致斯カル新ナル經濟事犯ノ發生ヲ自發的ニ防止スル氣運ヲ醸成セシムルコトヲ第一義ト致シマス固ヨリ惡質重大ナル事犯ニ對シテハ容赦ナク之ヲ摘發シ司直ニ依リ國民的制裁ヲ科スベキデアリマスガ徒ニ檢舉摘發ヲ事トシ爲ニ國民ヲシテ經濟統制ニ疑惑危懼ノ念ヲ抱カシメ以テ國民的協力ノ氣運ニ多少トモ間隙ヲ生ゼシムルガ如キコトナキ様注意ヲ要スルノデアリマス其ノ他防諜防共竝ニ一般的防犯等警察ニ於テ時局ニ則應シ活動スベキ方面ハ多イノデアリマス之ニ對處シマスニハ克ク時局ヲ認識スルト共ニ關係法令竝ニ事情等ヲ熟知理解シ以テ事態ノ輕重ヲ辨識シ專案ニ對シテ適正妥當ノ處置ヲ講ジ得ル様教養準備スルヲ必要トスルノデアリマス各位ニ於ケレマシテハ宜シク今後共一層部下當務者ノ指導ニ遺憾ナキヲ期セラレ度イノデアリマス

其ノ一ハ本島產業ノ調和的發達デアリマス  
御承知ノ如ク内地ノ米穀事情ノ爲ニ設ケラレマシタ米穀統制諸施設ノ結果ハ内地ノ米價ヲ適當ニ維持安定セシムル上ニ效果ガアツタノデアリマスガ反面本島ノ米價ノ昂騰ヲ促シ爲ニ本島農民ハ一段ト米作ニノミ趨ルル傾向ヲ助長シ從テ我國全體ノ米穀事情ニ惡影響ヲ及ボス情勢ニ

六

量產ヲマシタノデ本府ニ於キマシテハ地方廳ト協力シテ下ニ米穀ノ急増ヲ抑制スル爲水利施設ノ新設又ハ改修ノ一切禁止ヲ始メトシ土地改良等米ノ増產ヲ圖ル爲從來ヨリ實施セル各般ノ施設モ共ニ中止シ一方代作獎勵ニ努ムル等アラユル努力ヲ講ジタ次第デアリマス然ルニ此等各種ノ施設ノ結果ハ單ニ米ノ生産ヲ抑制スルニ止マラズ本島農業全般ノ發達ヲ阻害スルノ結果ヲ招來ス聯合至ツタノデアリマス即チ資源ノ利用開發、生産力擴充ノ切實ナル現下ノ事情ニ鑑ミマス七五實業遺憾ニ堪ヘナイ次第デアリマス之ヲ米ニ就テ積ヘマシテモ我國主要食糧トシテ不斷ニ之發良ヲ圖リ増產ノ根基ヲ培養確保シ常ニ情勢ノ變化ニ對應スル様備ヘ置クコトハ食糧國策ニ緊要ナルコトハ申スマデモナイコトデアリマス一面本島ノ有スル特質及使命ニ鑑ミマシテ本島特有ノ有用作物即チ甘蔗、棉、黃麻、苧麻、甘藷、苧麻等ノ増產ヲ圖リ以テ國內物資供給ノ圓滑ニ資シ國際收支ノ改善ニ貢獻致シマスルコトハ極メテ喫緊ノ要務ナリト存ズルノデアリマス而シテ斯ノ如ク米其ノ他ノ有用作物ノ調和的發達ヲ促ス爲ニハ其ノ前提ト致シマシテ各種產業發達地位ヲ占メ且他ノ有用作物トノ經濟的均衡ヲ失セル米價ニ對シテ特別ナル考慮ヲ拂フ必要アルデアリマス即チ本島ノ米價ヲ或ル程度ニ調整シ適當ニ安定セシメ米作面積ニ付テ其必要面積ヲ確保シ無統制ナル耕地ノ擴大ヲ抑制シ得ル様方策ヲ講ジ置キ現在禁止又ハ中止又狀態等ノ水利施設又ハ土地改良等生産力ノ擴充施設ハ積極的ニ實行ニ移シ之等ノ耕地ニ漸次漸進的増產ヲ圖ルル共ニ之ト並行シテ有用作物ノ増殖ヲ獎勵致スコトニ因リ是ニ初メテ米其ノ他ノ各種作物ノ調和的發達ヲ期待シ得ルノデアリマシテ從テ本案ノ目的トスル所ハ決シ

七

六  
テ米ノ減産ヲ圖ラントスルモノデナク寧ロ米ノ漸進的増産ニ努メ其ノ餘力ヲ以テ有用作物ノ増産ヲ圖ルコトヲ主眼トスルモノデアリマス  
又一方米價高ノ現狀ヲ放任スルコトハ單ニ本島農業ノ健全ナル發達ヲ期スル所以ニ非ズ其ノ他ノ産業發展ニモ惡影響ヲ及ボスノデアリマシテ從テ本島産業全體ノ調和的發達ヲ阻害スル虞ガアルノデアリマス是ニ於テ本島ノ經濟事情ニ即シタル米價政策ヲ樹立スル方策トシテ臺灣米穀移出管理ノ必要ガアル所以デアリマス  
其ノ二ハ農家經濟ノ安定向上デアリマス  
即チ米價高ノ現在ノ經濟事情ヲ現狀ノ儘放任致シマスト農業經營ハ益米作ニ偏倚單一化スル傾向ヲ辿ルノデアリマスガ斯ル農業經營ハ農家經濟ニ重大ナル禍根ヲ胎シ懼ガブマス殊ニ島内米價ノ特色ト致シマシテ騰落ノ差ガ甚大ナル事實ヲ發見スルノデアリマナガ斯ノ如ク米價ノ變動ガ殊ニ大ナル所ニ加ヘテ農業經營ガ米作ニ單一化スルノ傾向ハ農家經濟農民生活ノ安定上之ヲ放任スルコトヲ許サレナイ事情ガ存スルノデアリマス即チ米作ノ外ニ各種作物ヲ合理的ニ組合セマシテ經營ヲ多角化集約化セシムル方策ヲ講ズルト共ニ米價安定ノ方策ヲモ合セ講ジマシテ從來餘リ生産的ニ利用セラレズ消費セラレテ居ル農業收益ヲ生産的ニ轉換セシムル方策ヲ樹テ抑制セラレタル米價ノ部分ハ擧ゲテ之ヲ農業ノ調整開發ノ爲ニ還元スルコトト致シマシレバ一見農家經濟ヲ壓迫スルガ如クシテ實ハ之ニ依リテ却テ其ノ安定向上ヲ圖ルコトト爲リ島民永遠ノ福利増進ヲ期スル所以ナリト信ズル次第デアリマス

其ノ三ハ本島産業ノ國家的使命ノ達成デアリマス  
本島ハ我國ニ於ケル唯一ノ熱帶圈内ニ位シ從テ本島産業ノ開發如何ハ國內物資ノ需給調整ノ元ヨリ國際收支ノ改善ニ資スル所アルハ既ニ前ニ述ベタ通デアリマスガ現下ノ時局ニ鑑ミ益痛感セラレル次第デアリマス從テ米作ト共ニ本島ニ於テ栽培スルヲ得策トスル各種有用作物ノ増殖ヲ圖リマスコトハ本島産業ニ課セラレタル國家的使命ヲ達スル所以ト存ズルノデアリマス故ニ右目的達成ノ爲本島ノ實情ニ即シタル米穀政策ヲ樹立シテ各種産業ノ調和的發達ヲ促シ一面生産力擴充ノ徹底的施設ヲ講ジ得ルコトト信ズル次第デアリマス  
以上ハ臺灣米ノ移出管理ヲ必要トスル所以デアリマスガ仍内容ノ詳細ニ付テハ主務局長ヲシテ説明致サセマス各位ニ於カレマシテハ本案ノ全貌ニ付十分ノ了解ヲ遂ゲ之ニ基キ管下官民ニ對シ其ノ趣旨ノ徹底ニ努メラレ而シテ本事業ノ圓滑ナル遂行ニ資スル様十分ノ努力ヲ效サレシコトヲ切望致ス次第デアリマス  
之ヲ以テ訓示ト致シマス

## 時局と重要礦物の増産に就て

殖産局 鑛務課

10

時局の進展に伴ひ生産力の擴充は彌々緊要を加へ凡ゆる産業部門に於て總動員の計畫の實行が進められて居り正に生産力の總動員とも言ふべきである。而して各種産業の生産力擴充上其の原動力として或は材料又は原料として各種の鑛産物が如何に重要な役割を爲すものであるかは今更言ふまでもないことであつて、殊に軍需工業の資源として缺くことの出来ないものが極めて多いのである。近代の如く戦争が平面的から立體的に、更に科學的に進展するに及んでは益々此の感を深うする次第である。

現下に於ける鑛物資源の開發と増産の意義並に必要性も亦此處にあるのである。特に我が臺灣が帝國南方に於ける産業並に經濟發展の基點として、又國防確保の礎石として極めて重要な地位を占めて居ることに思ひを致すとき、本島に於ける之等資源の開發と増産促進の緊急性も亦一層大なるものがあるのを痛感するのである。

元來臺灣は鑛物資源に恵まれて居り既に發見せられたものだけでも八十種類に及び、其の分布状況を見るに金、砂金、銀、銅、鐵、硫化鐵、水銀、マンガン、クロム、ニッケル其の他金屬鑛物は主として本島の北部から中央山脈の東斜面及東部海岸山脈の一帯に賦存し、石炭は北部

及中部に、又石油及天然瓦斯は中部及南部に豊富なる埋藏の徴候があるのである。此の中臺灣鑛業規則に依り今日迄に採掘を許可せられ鑛物は一金鑛、石炭、石油、瓦斯を初めとして十六種であつて其の鑛區總數は七百餘區總面積は二億坪を超えて居り、尤も現在稼行中のものは總面積の半であるが、其の鑛産額は近年著しく増加致し臺灣鑛業の躍進的發展を物語つて居る。即ち昭和十二年中の鑛産總額は約三千六百三十萬圓であつて實に臺灣改隸以來の最高を示して居る。之を前年に比較すると約七百五十萬圓を増加し、本昭和十三年に於ては更に著しく増産が見込まれて居る。其の中産額の最も多いものは石炭であつて總生産額の四割餘を示して居り、次いで金關係、金銀銅鑛、金、金銀鑛物、金銀鑛、銅、銅鑛、天然瓦斯、硫化鐵鑛、カーボンブラックス、原油、石油關係其他と言ふ順序になつて居る。

總督府に於いては右の如く臺灣に於ける鑛物資源の豊富なること、之が開發の緊急なることに鑑み夙に關係諸令の整備斯業の補助助成、或は地質鑛床調査等各種の施設方策を實行して居り一方關係業者の不斷の努力と相俟つて本島の鑛業は今日の隆盛にまで至つたのである。現在實施中の主なる施設としては鑛物及地質調査、油田調査、金屬鑛床調査、産金獎勵並に管理、探鑛獎勵、選鑛製鍊場建設助成、石油試掘助成金の交付、天然瓦斯の利用研究其他があつて、之等鑛業諸施設に要する國庫豫算は總額三百萬圓の多きに達してゐるのである。

而かも今次事變に對應して一段と此の開發並に増産の緊急なることを感じ、物資總動員の見地から重要鑛物に就いては出來得る限りの増産計畫を確立して其の實施に努力を致して來たの

であるが、更に其の萬全を期する爲、其の對策の一として既に御承知の通り本年九月十日より臺灣重要礦物増産令の施行を見るに至つたのである。

此の臺灣重要礦物増産令の意圖するところは金、銀、銅、マンガン、ニッケル、石炭其の他の重要礦物の積極的而も計畫的な開發増産を圖らうと言ふ點にあるのであつて國家の必要に依つては其の鑛業の事業計畫に干渉し事業の計畫の變更は勿論、事業に對する着手を命令し更に場合に依ては鑛業權の移轉をも強制し、以て鑛業の國家的使命の遂行を期せんとするのである。従つて國家全體の公益の爲には時に依り個人の私益を或程度度外視することもあるのであつて現下の緊要なる要請である重要礦物の開發増産を確保する重要方策の一と言ひ得るのである。尙重要礦物増産獎勵の施設としては、昭和十二年度に着手した金探鑛獎勵と相併行して、本年度からは此他の金屬鑛床探鑛に對しても獎勵金を交付することとなつて居る。

以下之等の重要礦物の中主なるもの、事情に就き其の概要を述べて見ると、先づ第一に金に就ては、本島に於ける産金地域は、北部より中央山脈東斜面及東部海岸山脈に亘る一帯を占め頗る廣汎である。殊に我國屈指の金山として名高い金瓜石及瑞芳の二鑛山を有して居ることは吾々の洵に心強く思つてゐるところである。又北部基隆河、花蓮港廳タツキリ溪の一帯、之は砂金産地として本島産金計畫上看過することの出来ない地域である。今之等の鑛山に生産する金及含金礦物を純金に換算致して見ると之は昨年の實績であるが年額三千八百匁となつて居り而かも之等の産金は其の大部分が金瓜石及瑞芳の二鑛山に於ける約

八百萬坪の地域から生産されるものであつて、此の外現在探鑛中のものとして、臺北州下の金山、花蓮港廳下の瑞穂其の他の鑛山があり、更に昨年以降實行中の東部金屬鑛床調査の進捗に伴ひ新に有望鑛床の發見せられることも豫想せられる所である。

我が臺灣に於ける金の産出は以上の如くであるが、近年我國に於ける各種産業の隆盛に伴ひ重要物資の輸入が激増し之が決済の爲、出來得る限り金の増産を圖ることが緊急の必要となり更に今次支那事變の勃發と長期抗戰の對策上益々産金増加の重要性が加はるに至つたので、具體的産金計畫を確立して更に一層の開發、増産に萬全を期せんとしつゝあるのである。金の外銀、銅、マンガン、水銀、硫化鐵鑛其の他の重要鑛物に付ても探鑛獎勵規則に依り有望鑛山の發見に對し獎勵金の交付を爲す等の方策に依り其の増産を期してゐるのである。次に石炭であるが、石炭の需要は鐵道、船舶、其の他交通機關の擴充と各種工業の興隆、殊に人造石油製造事業其の他新興工業の勃興に依り年と共に著しく増加を來して居るのである。殊に本島に於いては帝國南方に於ける地位が愈々重きを加ふるに従ひ必然的に、交通機關の擴充、産業の工業化への躍進等亦顯著なるものがあり、更に製糖業に於けるバガスのパルプ化に依る代用燃料、纖維工業、セメント工業の擴大、曹達工業、電氣事業或は又製鐵事業其の他新興工業の勃興或は南方との經濟的緊密化等に依る需要の増加に思ひを致すとき、本島に於ける石炭の需要が格段に増大することも亦豫想するに難からぬ所と言はなければならぬ。而して本島の炭業は數年來需要の増大に照應して劃期的な躍進を遂げ出炭地域も北部から中



部へと擴大せられ、本島鑛業の大宗として益々其の地歩を確保するに至つてゐるのであるが然し乍ら本島炭業の現状に鑑みると将来の増産と鑛利の保護との爲には尙幾多改善を要すべき問題が残されて居る。即ち炭層其の他の關係から来る採炭技術の困難、小炭業者の非合理的經營、鑛區相互間の不整理、勞力及資材の不充足、坑内保安の不完全、炭價の不安定等であつて之が對策に就いては充分なる考究を要する所である。

本島に於ける産業の將來は實に此の石炭業の發展如何に懸つてゐること極めて大であると申しても過言ではなからうと思ふ。支那事變下に於いて石炭生産力擴充の益々緊要性を加へつゝある所以である。

石油に就いては、近時、自動車、航空機の増加に依る交通運輸の飛躍的發展と各種工業の興隆とに伴ひ石油需要の範圍は益々増大せられ、又軍備機械化の傾向は内然機關の燃料として特に石油の重要性を加ふるに至つた。然るに我國は石油資源に乏しく需要の大部分を外國産石油に依存せねばならぬ實情にあることは洵に深慮を要する所であつて之が恒久的對策を確立し、以て平時及戰時に於ける供給を確保することは現下の時局に鑑み特に緊要なる所である。翻つて本島に於ける豫想油田地帯は全島の半以上を占めて居つて、地質の構造は石油の埋藏に適して居り、油質も亦頗る優良である。加ふるに石油層と密接なる關係にある天然瓦斯の發生地域も亦極めて廣いのであつて、其の噴出量の莫大であること熱源として、極めて有効であること又近時人造石油、カーボンブラック其の他重要化學工業用原料として之が利用方途の講

ぜらるゝやうになつて其の油田價値は更に一層大なるを加へつゝある次第である。

而して油田開發に關しては夙に地質調査及油田調査を實行すると共に、石油試掘補助金を交付致し著々と其の實績を挙げ來つたのであつて、就中出礦坑油田の開發の如きは最も顯著なる成果を收めたるものであるが、更に昭和九年度以來補助金を年額三十萬圓に増額し、又本島に於ける油田の開發は油層の關係上深試掘を必要とするものがあるのを認めて昭和十一年度以降三箇年繼續、補助金總額三百餘萬圓を以て三千米以上の試掘井に對しては其の實行經費の半額を補助することとし油田開發の促進を圖つてゐるのである。昭和十一及十二兩年度に亘つて補助金を交付した三千米の試掘井は通霄第二號井、竹東第六號井、牛山第四號井、九層林第一號井並に錦水第三十二號井の三千四百米追掘であつて此中錦水第三十二號井は昨年七月豫定深度を突破し更に掘進して、現在は三千五百米に僅か六米足りないと云ふ深度に達し、我國に於ける最も深い油井となつてゐるのは勿論、世界的深油井として注目すべきものであり、現に良質の原油を採取中である。

而かも時局柄更に石油の速急なる増産を圖ることが極めて緊切な要請となつて來て全面的に之が増産計畫を確立し併せて其の實行を促進確保する爲本年以降三箇年繼續、補助金總額二百六十萬圓を交付して一千五百米程度の淺掘井に對しても、之が掘鑿を助成することゝなつたのである。尙石油資源の開發を一層強化し、合理的施設を促進する爲石油資源開發法を公布し本月十日より施行されて居る。

次に天然瓦斯であるが天然瓦斯の利用に付いては現在揮發油を採取し又カーボンブラックを

製造致し一部はタウンガスとして之が利用に努めて居るのであるが、本島の天然瓦斯は世界でも有数のものであつてタウン瓦斯を主成分とする有用なる資源なのである。従つて現在の如き程度の利用を以て満足すべきではない。更に一步を進めて人造石油の製造は勿論其の他化学工業の原材料としてより有效なる利用方法を講じますることは今日最も緊急を要する所と言はなければならぬ。茲に於て總督府天然瓦斯研究所に於いては、昭和十年度以來各種の研究を進め、既に實驗室的研究を終り、其の成果を得たものに付いては、速かに工業實驗又は工場生産に移らんとしつゝあるのである。昭和十二年度に着手した航空燃料油及水素製造の工業實驗、本年度の合成石油原料瓦斯の工場實驗は其の主要なものである。之等は天然瓦斯の工業的利用に關する劃期的施設であつて、斯業に寄與するところ多大なるものと信じてゐる。

以上如く本島に於いては各種重要礦物に付て夫々一定の計畫の下に其の増産を期してゐる次第であるが時局の前途に想到するとさ物資動員計畫は愈々強化擴大せられなければならないと思ふのである。

臺灣の重要礦物増産計畫も勿論此の全體的物資計畫の一環を爲すものであつて其の成否如何は延て現下非常時局の克服は素より國力増進に至大なる關聯を有するものである。従つて我々關係者は官民共に其の遺憾なき實行に邁進するの必要があり時局柄礦山の開發なり經營なりの上に於て、資材の取得上或は勞務の調整の點に於て相當の不利不自由はあることと思ふけれども共時局と事業の重要性に就いて充分認識せられ國家全體の要請に則應するやう切に關係業者の留意をと一般の理解を望む次第である。

一六

## 海外情報

### 臨時情報部



#### 「廣東を視察して」

極東代表W.R.ウィルズが十二月七日、ニューヨークB.S.放送會社J.P.A.社より全米放送した大要である。

私は日本陸軍の好意に依つて南支全地域を充分に視察することが出来ましたので些か私の所見を申し上げます。

飛行機で廣東に近付いての第一印象は廣東市が全滅してゐるこの報道が大袈裟過ぎて居た事です。

私のホテルの窓から見ると全く破壊し盡された荒野原の光景が目に残りました。眼の届く限り骨つての繁華を極めた大夏高樓も今は只打壊はされた塀を残すのみなのであります。この荒野原こそは十月二十一日の午後日本軍が南東方面から廣東に入城した時にぶつかつた光景

なのです、之は所謂燒土政策に依つて退却に際して支那軍が一切のものをダイナマイトで残るものなく打壊したのでした。この打壊された廣東市内復興建設事業は數年の長日月に巨額の資金を要するものなのです而して乍ら幸ひにして市内の住宅地域は大抵此の災厄から救はれたのであります。

百五十萬を稱した全人口が日本軍入城前完全に撤退した云ふ事は類例のない事です。果して何處に行つたか又さうして行つたか外人連や日本軍人の話では其の人口の大部分の珠江は澤山の支流や運河等にある船舶や屋方船に友人や知人を頼つて今尙滞在してゐるのだ、この事でした勿論戦争の影響のない町や村にも避難してゐる事の事です。

一七

私が南支派遣軍司令官安藤利吉中将に御目に掛つた時『日本の方針としては支那民衆を出来る丈早く歸宅せしめ營業に従事せしむるにあり』と言葉強く申されました。而かも此の方針を實行する爲には布告や日本軍將兵が避難民に對して爲された言葉の中にも示された通り、歸來する支那市民の安全を保證し援助を與へてゐるこの事でした。

市の各方面を視察した結果、恐らく七萬五千人が目下廣東市内に居住するものと考えられます。發電所や水道施設、交通機關を支那軍が破壊した事が避難民の歸つて來るのを遅らせてゐるのです。

支那人の或る者は日本の廣東占領を全然頓着してゐない云ふ證據は私も視察した數箇所に見られる。『泥棒市』が盛んな事でも判ります。

勿論『泥棒市』は從來共大ビラに開かれ別に警察の干渉を受けて居らず皆んな盗んで來た見事な美術品も二束三文で賣られてゐます。

支那人獨特の賭博心も遺憾なくこの市場の中で見られ

黃埔で支那側の築造しかけた大事業で今は日本軍が占領してゐる大港灣事業將來は大船、巨船を收容し、南支一帶の大地域に巨額の物資を供給する事業を上から見ました。

石龍では支那軍が退去の際打破した四條の鐵橋を認めました。之が修繕は不可能だ日本の技師が話して呉れました。更に數箇所鐵橋の破壊を見ましたが日本人は忙しい様に修繕に努力して居りました。

廣東の上空を低く飛んで私は初めて破壊の程度を實際に知る事が出来ました。市内の四分の一は灰燼に歸し商店は支那人の放火で焼かれ停車場は日本軍入城の前後に日本軍の擲撃に依つて全く廢墟化してゐました。

着陸後は停車場を視察しましたが日本空軍の直射を受けて列車が残つて居りました。驛構内にはドイツ製の高射砲、ロシア製のタンク、トラツク、アメリカ製の自動車イギリス製の自動車チェッコ製の榴彈、イギリス製の貨幣など彼方此方に残骸を横たへてゐました。而し線路が全然何等の損害を受けて居ないのは日本空

買手も賣手も各種の賭博で輸贏を決してゐる有様で可笑しい事には中でも米國のホーカー遊びが一番好きな様でした。又所謂米貫ひ行列を三箇所で見ました即ち日本軍が申出人員に一人一日約二ポンドの米を一ポンド二錢五厘で頒つてゐるので米國の一仙弱です私の視察した最初の米配給所では早朝から配給を受けた者は約三千人の女だこの事です。第二配給所では既に今日は五千人以上の人口に米を配給したと云つて居りました夕方私は沙面の外國租界を散歩した時外國人は平時と同様に各種の競技にふけてゐるのを見ました。

別に數へませんが沙面の河岸には少くも千隻の船舶が撃がれて居た事は確かでした、一隻少くも五人乗つて居ります、曾つての廣東の遊び場もこの舟の中です、現に少しも變らず今尙營業に従事して居るらしいのです。

翌朝私は飛行機で廣東全地域の上を珠江に沿つて香港に近い英國の國境の邊りに迄飛び廣九鐵道に沿つて歸つて來ました。

軍の正確さを如實に物語るものであります。

翌日中山大學の視察を許されましたがこの大學の近くに廣い農場があつて日本軍が歸つて來た支那農民をして米を收穫させて居りました。

私はこの地方の支那人數名を話しましたが彼等は戦争が終つて再び平和に仕事が出来ることが頗る満足して居るに答へました。この附近で日本軍は支那軍の頑強な抵抗を豫想したのに全然之がなかつたのです。

一人の日本將校は『若い支那軍が抵抗したなら確かに相當期間、この地を死守し得た事はこの地勢を見れば判る』と話して呉れました。外國人も『支那軍はこの地で相當抵抗するものゝ豫期した』と話しました。

この近くで支那の要人胡漢民氏の昔の別荘を見ました。今は支那人の歸還に協力してゐる日本軍の事務所になつて居ります。此處で私は附近の戦場で没した支那軍將士の爲に日本軍の建てた記念碑を見ました。

次に私は支那軍が廣東防衛第一線とした地域を視察しました。之は二つの山脈に挟まれた廣い野原で無數の

コンクリートのトーチカが作られて居て、山々の上には見た所頑丈な城塞があつた。

之等の城塞は日本軍が北及び西から攻撃するだらうと豫期して作られたのだと聞きました。處が日本軍は東及び南から攻めたので支那としてはこの要塞も役に立たなかつたのでした。又日本の海の荒鷲が退却する支那軍を爆撃したのもこの地點でした。

廣東市への歸途、孫逸仙を祭る廟を通りました。この廟の中で各階級の廣東人が治安維持會を組織する爲め會合を行つて居りましたがやがて新しい政府の中心となるものであります。

廣東に歸つた時日本海軍の火事のサイレンを聞きましたが之は市中に残る支那兵の放火したのを消すためのポンプの出動でした。水がないのでタンクで珠江から河水を火事の現場まで運ばなくてはならなかつたのです。火事は大火でしたが一時間以内に消されて終ひました。

私の廣東滞在最後の日にキリスト宣教師團體の經營して居る避難民收容所を見物しました。この中一番大きな

のは廣東の向ふ側の河南郊外の嶺南大學經營のもので此處には約七千人が收容され大學の經費で賄つて居るのです。又この種の收容所が六箇所あつて此の地方の宗教團體が種々の名義で行つて居ります。この大部分は米人及び佛人です。

夕方私はアメリカ砲艦ミランダオを訪問しました。丁度沙面の向ふ側の珠江上に碇泊して居りました。

私は日本の陸軍から可憐な取扱ひを受け見たいものは凡べて見る様に許されて居りましたが私がミランダオ號に乗船して甲板の當直將校の笑顔を見た瞬間私は少なからずショックを受けたと云ふのはアメリカ總領事、マイヤー氏も船にあつた事で廣東在住のアメリカ人は總べて安全でアメリカの財産には少しも被害がなかつた事聞いた時だつた。

マイヤー氏の言ふには「日本軍の折衝は批判の餘地のない程に圓滿に進行した」。之で私の放送を終りませ致します。

### 西南方面の動向

西南方面の動きに付四川・雲南・廣西より齎らせる諸情報を綜合するに大様左の如である。

廣東武漢陥落後蔣介石より全國民に告ぐるの書を各省に通達せるに對し雲南省全體及び四川西康各首領を始め貴州廣西並に湖南迄一齊に蔣に對し抗戰擁護の通電を發せる旨雲南廣西各紙は報道して居るが表面上の情勢に過ぎず確かな情報に依れば四川省の如きは蔣の腹臣張群行營主任となりたるも依然在來の領將は蔣の出兵命令に従はざるのみならず内に於て互に分裂し形勢最近尖鋭化しつゝあり、殊に廣東及び武漢陥落後國共兩黨は又々分裂し且中央に對し不信任をも表明し居り去る十月二十八日開會せられたる第二回國民參政會にも共產派は一切出席せず明かに國民黨との合作を拒否する趣である。

又西康省に於ては約二週間前同省政府改組せられ劉主席は辭し目下中央にて同主席を人選中の趣であるが右は蔣の西南聯合切崩し策を見るべく藝に四川の劉湘を葬り之れに代るに張群を以てせる外貴州には中央系吳鼎昌を

据へると共に廣西省白崇禧の後釜には同様黃旭初を主席にさせる等をも通じて觀察するを要す。

雲南省龍雲は元來事變前後迄は蔣との關係極めて密接良好なるものあつたが蔣が敗戦を重ねて中央軍の進入し來る事は即ち今日迄の勢力を侵害せらるゝこととなる可きは四川省と同一を以て心中甚だ良からざるは勿論である。一方蔣に於ても藝に龍に對し二十萬出兵方要求せるに龍が僅か三萬の兵を然も二回に動員せるに過ぎざる。雲南軍が雲南に於て大敗せる等より龍に對し甚だ面白からざる感情を持つに到れる一方龍は更に本夏漢口に招かれ蔣より面罵せられたるに痛く反感を懐き居り今や龍の蔣に對する關係は昔日の如く親密ならざるも、様である。さりとて龍が反蔣の狼火を揚ぐるには抗日「スローガン」の前には逆臣の汚名を蒙らざるを得ざる情勢にあり中央と地方との名分上大義立たず特に昨今兵力削減せられて獨立一個旅團が五千である。各縣自衛軍約一萬の外學生五千か加ふるも全兵約二萬に過ぎず中央との單獨對抗には絕對勝算なく且龍は西南聯合に依る

對抗以外に蔣に對する手段なき形勢である。

而して龍は現在尙四川西康代表胡及び廣西代表李を駐在せしめて互に聯絡を計り居る外中央系云はる、貴州吳鼎榮も聯絡あり龍は之が四川、西康、雲南、貴州及び廣西の五省を率ひて獨立を計り度き意向は山々なるも蔣に於ても亦此の形勢を察して敢て龍を輕んぜず特に龍が支那有産階級中の第七人者なるに廣東武漢陥落後雲南通過武器を保管貯藏し居れる爲め龍を怒らすに於ては現在及び將來に對する打撃少からざるを知り居れる蔣は必ずしも龍を侮らないのである。

然れ共蔣に四川の劉を葬り貴州廣西に對し中央系主席を据へ今又西康の改組を斷行して、徐ろに中央系を爲さんとするは蔣の龍に對する工作の前奏曲と見るべきである。曾て全清を統服せる革命軍を培ひたる西南殊に雲貴川康が敗戦蔣の臥薪嘗膽すべき蟄居地たらんとするに從ひ蔣對龍の關係は大いに注目し植すべく蔣が果して龍を

二二

願使し乃至葬るに到るか又龍が西康を引提げて蔣を牽制するに到る可きや蔣に懐柔せられて昔日の如き親睦を表するに到るやは將來の問題なるに同時に西康の此の種政局の動は蔣及び今事變の最後を決す可き重要性を有するものである様に見受けらる。

日英關係改善の兆か (ロンドン)

英國政府は極東の情勢に深甚の注意を拂ひつゝあり、砲造建設の見地から新聞論調に對しても間接的抑制を加へつゝある。一方重光大使は着任後既に首相側近のウィルソン、リースロス兩政府顧問と會見し更に怡和洋行のケズウィツグ、太浩洋行のパンナード、英米煙草のローズ氏等とも私的會談を重ねてゐるが、各商社とも極東に於けるビジネスの復活を希望し平和の克服を期待してをり、香港銀行の如きも日本の最大商社の一つに對し百五十萬ギルダのクレジットを復活した事實がある。

華僑情報

臨時情報部



基隆華僑の金賣却

曩に全島に率先して廈門の皇軍慰問をなし或はマイクを通して支那同胞に呼び掛けて正義日本の精神の理解に努めて來た基隆華僑公會に於ては各會員の退藏金賣却方を奨勵し十一月三十日を第二回の期限として運動せしるに賣却者三十六名金額四千九百餘圓に達した。尙同會は區制度規約を制定し全市に九區を分け各區に委員長委員を設け愈々統制活潑な活動をせんき意氣込んでゐる。

高雄華僑 第一線皇軍慰問計劃

皇軍の威力に依り没落の一路を辿る蔣政權に絶縁狀を叩き付けた在臺華僑は今や東亞維新の大業建設に協力すべく決意したが實に生をこの時代に享けたこゝは誠に東洋民族の光榮である。これも御稜威の下皇軍の献身的努力の賜であると思ひこの程現地の皇軍を直接慰問するに云ふ計劃が高雄華僑公會を中心として行はれ近く全島各地の華僑に呼びかけて本月下旬迄に本計劃の具體案を決定するため打合せを開催した上愈々慰問團を組織して廈門駐在皇軍の慰問に乗り出す筈である。

心からなる恤兵献金

花蓮港稻任華僑高貴發は日本政府の庇護に依り安樂に生活が出来得る言ふことを平素より感謝し何か謝恩したいと考へ其日暮しの生活でありながら一家協力節約をなし得た金三圓を恤兵金の一部に使用して貰ひ度いまで申出で係員を感激せしめた。

### 華僑が神前結婚

臺南華僑新民公會會長張相はこの程華僑に範を示すべく臺南神社大前にて令息張華欽と許橋子との神前結婚を行つたがその際結婚費用を節約し百圓を國防献金、五十圓を恤兵金として三十日臺南憲兵分隊に提出した。

### 優しい親日の叫び

可愛い支那人兒童が故國の少年達に向け正しい日本の姿を二十八日夜十時三十分から放送したのは横濱市中區山下町中華公立小學校五年生汪近周(一)同陳慧彩(一)二人で、AKから支那と日本の童謡を二つづつ、共に次のやうなに讀し全支に向けて放送した。

「放國の兄さん、姉さん達御元氣ですか、私達は長らく

日本に住んで親しいお友達も澤山出来ました。事變が起つても日本の友達は平素と變りなく親切にして呉れます。日本の少年少女達の支那事變に出征した兵隊さんやその家族の人々に對しての心盡しの數に泣かせられます。故國には今新しい政權が生まれました。日本の友達と同じやうに新支那のために皆さん一生懸命勉強致しませう。

### 在阪華僑反共大會

在阪華僑は二十三日午前十時大阪市西區本町二番町北幫公所樓上における大阪中華總商會創立大會を機會に反共救國大會を開催、華僑代表三百名參列、南幫公所理事長張友深氏の開會の辭の後會長朱志古氏の挨拶、府知事市長、中防司令官、商工會議所會頭の祝辭代讀あり萬歳を三唱して閉會した。

### 抗日華僑を調査

海外各地に在留する華僑有力者はその郷里たる廣東、

福建に財産を有する者が多いがこれら華僑中には海外にあつて抗日運動を指導しつゝ、あるものも亦少なくない。これらは廣義の解釋により日本に敵對してゐるものと認められるもので日本當局者中にはこれら抗日運動家の財産は敵産と認めてこれを沒收すべきである主張するものも多く既に海外各地機關に調査を命じた云はれる。

### 暹羅に於ける支那人取締

一、過般の不浪人檢舉は有力華僑連も大體其の措置に満足の意を表し居る模様で其の後市中の犯罪事件の激減を報ずる新聞記事がある等一般に右檢舉を當局の大英斷であると稱揚するの風がある。尙逮捕せられた支那人中過日第一回分約八百名汕頭方面に追放せられたが今回第二回分約三千二百名近日便船で汕頭方面に追放せられることとなつた。

二、前回上海事件當時廣東に結成せられた華務委員會なるもの當時より現在に到る迄常時反日的指令を當地中華總商會に對し發し居るは事實であつて總商會は當國駐

在中國外交部商務員辦事所と連絡、排日運動に關し新聞の操縱秘密結社の動員をして居つた。因に右商務員辦事所なるものは約五年前開設せられ特別暹羅政府より承認せられたものであるが事務所を設置し華僑に對し護照紹介狀を發給する等恰も領事の如き事務を執つて居つた。現商務員は當地生富蒙陳守明である。

### 華僑の比島出入

(マニラ)

在比華僑、主に厦門出身者の歸國に付ては在マニラ支那總領事に於て比律賓政府の了解を得て便宜供與を受け「マニラ」より英米船にて泉州に上陸する。比島への渡航者は泉州又は九龍より乗船旅券査證は米國領事館にて受

ける。又本國送金は「マニラ」中興銀行より泉州中興銀行宛の爲替に依る状態にて之等華僑は將來泉州を昔日の繁榮に返すに勢込んで居る。

華僑の動靜

(ダボオ)

九月中旬在マニラ支那總領事當地に來訪以來華僑の集合頗繁なるも主として學校經營資金に關する協議である。排日貨運動も話題に上るが當地の特殊事情に因り反對論者多く其の實行決定を見ざる由。華僑もしても排日貨運動を敢行すれば却つて其の商權を縮少し自滅を招來する所以を知悉してゐる。唯廣東陥落に因り或は一部過激分子の強要により斯る行動に出づるやも知れないが結局は援蔣熱の餘燼に過ぎない。尙當地の華僑職業別數は次の通である。

- 料理業二四、洋服業一二、食料、酒類、雜貨商八七、寫真業二、金物、機械類、建築材料八、麻仲買業三、材木業四、建築業一、其他四四
- 計 一八九

在新嘉坡の華僑の動向

二六

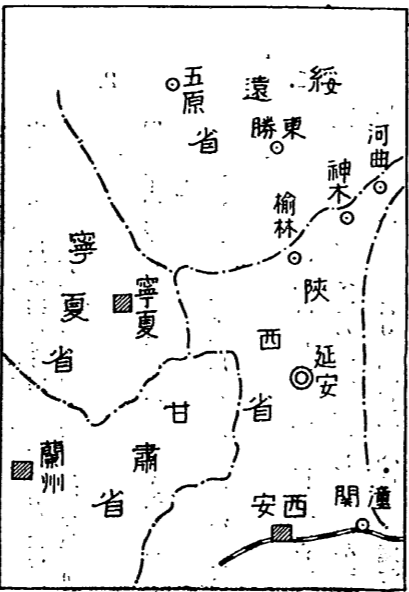
一、廣東漢口に於ける皇軍の劃期的勝利を確認するに共に事態に對する認識を著しく改めつゝある。  
陳嘉庚一派の長期抗戰擁護獻金繼續運動は相當猛烈に行はれつゝあるが一般華僑は既に中央及び廣東當局に對し信頼を失ひたる爲、之に追隨し踊る者少き模様なるが却て一部には反陳運動さへ起さんとする氣配ありて陳に對立せる當地第一の富豪にして有力華僑は東亞の新秩序建設に協力せんとする氣運がある。  
又廣東人八割を占むる吉隆坡では大資本家にて「プロック」形成日本取扱開始計畫がある。他地方に於ても先に解除せる契約の復活を求め進んで保證金を提供するもの現れたる由である。  
二、職業的排日暴力團の如きも殆んそ其の影を收めたるが如きも殘存せるものに對しては政廳及警察方面に於ては斷乎たる取締方を取りつゝある。

事変日誌



十一月十五日

1. 無錫東北方地區討伐隊の戦果  
十五日迄に討伐は順調に進歩多大の戦果を収めたり、又太湖東南岸に蟠踞せる程萬軍約八千名は正式に我に歸順せり。
  2. 海軍遼航部隊は岳州下流に於て敵砲艦「江貞」を捕拿せり。
  3. 我が空の精銳は大舉赤色ルートの根據地を空襲、ソ聯援助による敵空軍再建を困難ならしめ抗日戦上に徹底的打撃を與へたり。
- 【西安】飛行場に待機中の敵機凡そ十機及格納庫重要建築物を爆破粉砕  
【蘭州】敵戦闘機の抵抗を排除しその二機を撃墜、飛行



十一月十六日

二七

場、軍事施設を爆破  
【寧夏】午前午後二回に亘り空襲を決定、兵營、飛行場其他の軍事施設爆破  
【五原】馬鴻逵軍の根據地なり。民衆の生命財産の安全を期した愛撫運撃にとも民衆宣撫のビラを撒布せり  
【成德】敵戦闘機約十機と壯烈なる空中戦を交へ一機撃墜、格納庫、燃料庫を爆撃炎上、地上機六機粉砕全機悉々歸還

1. 羅田に殘敵を包圍せり。

羅田、英山に集結せる大別山系殘敵を攻撃に向へる我が部隊は十四日新洲、斬水、上巴河の三基地より一齊に進發所在の敵を擊滅夕刻には完全に包圍せり

2. 増城北方約八杆白湖附近に於て集結中の部隊を撃破せり。

3. 海軍溯江部隊は岳州上流に於て敵砲艦「民生」を捕拿せり。

4. 空軍の活躍

【西安】—昨日に引續き驛に停車中の貨車群、驛建物を爆

破

【蘇州—甯山間】—貨車群粉碎、中間驛の倉庫貨車群爆破

【長沙—株州間】—貨車、倉庫群を爆破、交通路切断

【龍州】—佛領印度支那の國境に近く斷末魔の將政權の武器輸入路上の要衝なり、軍事施設建物粉碎

【柳州】—飛行場、格納庫、兵營、倉庫を爆破炎上、江上の軍用舟艇約二十隻を大破飛散せしめたり

5. 臺灣總督府南支派遣軍慰問團一行廣東着、在廣東各部隊を訪問慰問せり。

十一月十七日

1. 羅田占領

包圍圈を縮少し猛攻中の快速部隊は敵を蹂躪城内に突進これを占領せり。我軍引續き英山に潰走する敵を猛追東方黨軍方面に於て英山より來援の敵と協力抵抗せる部隊を包圍殲滅的打撃を與へ英山に六杆の地點に迫れり。

2. 空軍の活躍

【五原】—軍事施設爆撃、多數の宣傳ビラを撒布全機無事歸還

【宜昌】—前後二回に亘り倉庫、集積軍需品を爆破炎上

十一月十八日

1. 畏き邊に於かせられては世界戦史に比類なき武漢攻略戦に参加し赫々たる武勳を建てし將兵の勞苦を懈らばせ給ふ大御心より 聖旨及び令旨を傳達せしめ給ふため中支方面に四手井侍從武官を御差遣遊ばされたり。

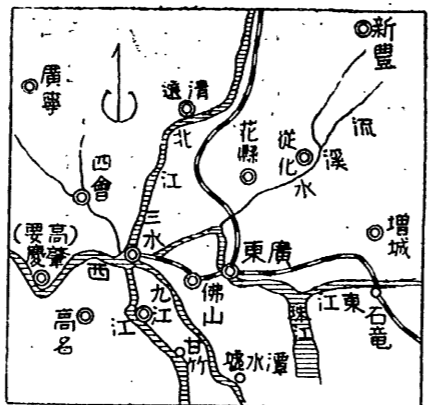
2. 空軍の活躍

【西安】—赤色中樞機關たる共產黨本部及綏靖公署を爆破炎上

【宜昌】—倉庫、軍需品集積場爆破

【枝江】—宜昌の對岸—飛行場に待機中の小型三機、燃料庫爆破炎上

【平江】—敵大部隊の宿營地銃爆撃  
【河源】—陸軍【廣東省】【南寧】【百色】（廣西省西部）—飛行場、兵營、其他軍事施設爆撃  
【粵漢線】—長沙以南の沿線各驛の倉庫、貨車群を偵察爆破



- 3. 興亞院官制制定されたり。
  - 4. 南支方面最高指揮官安藤利吉中将任命せられたり
- 十一月十九日
- 1. 英山占領

羅田より頑敵を擊滅猛進中の部隊は英山を占領更に殘敵を東方十軒裏掃蕩、東北方八杆の糧家糧—金家舖に進出大別山西南麓一帯に敵影なし

2. 空軍の活躍

【榆林】—神木（陝西省北部）—軍事的施設を反復爆撃徹底的に粉碎

【綏遠】—歸化城（歸化）—南支—軍事施設、トラツク群を銃爆撃

十一月二十日

1. 東莞占領

東江南方地區掃蕩部隊は所在の敵を擊滅敵の重要據點東莞を占領せり

2. 寧武（山西省北部）附近に於て敗敵の大部隊を撃破せり。

3. 長沙全市殆ど灰燼に歸す。

退却兵の放火に依る前後五日間に亘る猛火に罹災者無慮二萬外國の糧益も殆ど烏有に歸せり

4. 空軍の活躍

【蘭州（延安）】—陸の党軍は大舉陝西省中央部の赤化都市—蘭州を初空襲、共產大學、赤化施設に猛爆



【宜昌】軍事施設及堆積の軍需品爆撃炎上  
【汕頭】【潮陽】【武鳴】【南寧】【賓縣】兵營、工場、其他の軍事施設を爆撃

十一月二十一日

2. 空軍の活躍

【延安】昨日に引き続き共産黨各施設を猛撃粉砕  
【瀋陽】【盤石】(武漢の西南百軒)敵の據點及び河岸に密集せる約三百餘の敵軍用艇を爆撃炎上  
【桂林】【梧州】前後二回に互り飛行場を襲撃敵機六機粉砕、七機大破、格納庫其他の軍事施設を爆撃  
市上空に於て極めて猛烈なる地上銃火を受け我機は敵弾のためタンクに引火せしがよく離陸を続け基地に歸還せり

十一月二十二日

1. 北支の肅正工作着々進捗せり。

【正大線方面】「焦作」(新郷西方五十軒)に敵の大部隊を潰走せしめたり。「井陘」【饒各廟】附近の討伐隊は彈藥庫、被服廠を發見、武器及軍用電線竝に被服を多數擷獲せり  
【彰德方面】大名附近に於て頑敵を撃退せり  
【山東省西部】「東昌(濟南西方百軒)」に於て敵を包圍全滅せしめたり。「鄆城」(德縣西南方)に敵の大部隊を

攻撃これを占領せり。「牛角店」(德縣西市)匪團約一千を包圍殲滅せり

【河北省】「臨清」(東昌の西北)より運河西岸北上敵の根據地(油坊鎮)、「清河」を攻略せり河北共産軍の根據地【南宮】を攻略せり。永定河地區に出動の部隊は十五日行動を開始し【瀋陽】「唐二里鎮」信安鎮を抜き十八日には勝美鎮を占領敵の死命を制せり

【上同城占領】

武安縣城の我が部隊に襲撃せる敵の強力なる遊撃隊を撃破潰走の敵を急追敵の根據地上同城を奇襲これを占領せり

【宿遷城占領】

徐州の東南方の敗敵掃蕩中の部隊は離蒙附近掃蕩後更に東北方宿遷を衝き空軍と相呼應し頑敵を殲滅城内を掃蕩せり

斯くして我が新鋭部隊は隴海線南方並に津浦線東部大運河に至る地區の肅正を完了せり。

2. 粵漢線北上部隊は鶴采田(花縣西北約八軒)附近に於て約二千の頑敵を撃破清遠方面に潰走の敵を急追中なり。

3. 空軍は【佛岡】【藤林】(廣西)倉庫群、軍事施設を

1. 南支派遣軍は東江兩岸地區の殘敵の大掃蕩戦を開始せり。

2. 北江東北地區清遠附近に於て敵の有力部隊を撃破潰走せしめたり。

3. 空軍の活躍

【龍巖】【沙湖鎮】飛行場、敵の據點を爆撃  
【樂昌】【韶關】(南支)列車群、軍事施設を爆撃  
【潼關】黄河對岸の敵を銃爆撃、鐵道破壞退路遮斷  
4. 反共救國山西省大會は大原神社外苑に於て臨時政府王克敏委員長はじめ新支那建設熱意に燃えた民衆五萬餘參集の下に盛大に舉行せられたり。

十一月二十四日

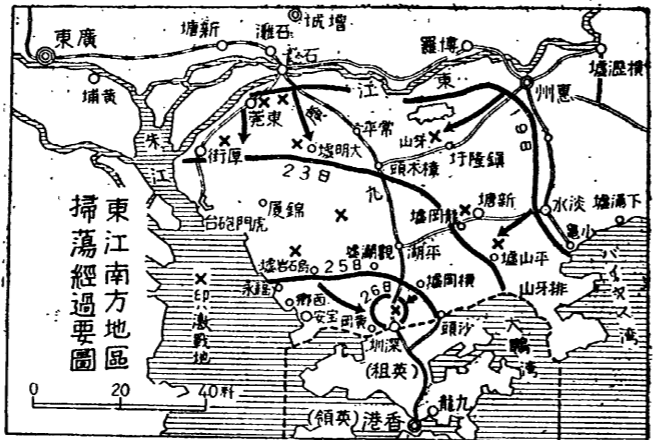
1. 山西省共匪掃蕩部隊は寧武南方高地にて遊撃隊の有力部隊と遭遇激戦の後これを潰滅せり。

2. 南支方面殘敵掃蕩戦の戦果

【從化】東南方青巡、驛村に敵と遭遇我が方は特有の機動力を發揮し敵を包圍殲滅、武器多數を擷獲せり

【三水】北方掃蕩中に殘敵の大部隊を撃破せり

【河南地區】(廣東市の珠江南岸地區)二十三日より殘敵



爆撃炎上せしめたり。

十一月二十三日

の掃蕩を開始し、泉嶺—瑞寶—容村—龍江—大連—  
新村—龍潭—南石頭と順調に進捗掃蕩を完了せり

3. 海軍陸戦隊は二虎島攻略沙灣水道沿岸を討伐せり

4. 空軍の活躍

【清遠】大沽砲台—敵部隊及軍需品爆撃

【二虎島】—地上部隊の作戦に協力敵を潰亂

【龍州】—兵營其他重要軍事施設爆撃炎上、前回の爆撃と  
に依り諸施設は殆ど潰滅せり

十二月二十五日

1. 珠江沿岸討伐隊は蓮花口砲臺附近のトーチカ陣地  
を奪取せり

2. 空の精銳は南支討伐隊に呼應し全地域に互り快翔  
多大の戦果を収めたり。

【平山砲】白雲子(淡水東方約三十軒)(旺官砲)(紅海灣)

【海豐】—附近に於て敗殘兵集團に猛爆射をなし殲滅的  
打撃

【英德】—敵兵滿載の舟艇十餘隻を爆撃沈没

【廣寧】(廣東省西部)—軍事施設を爆撃

3. 武漢治安維持會發會式を舉行せり

十二月二十六日

1. 東江南岸地區殘敵掃蕩完了

南支派遣軍は十九日より東江南岸地區に奮動する敵を掃  
蕩準備中なりしが石龍、惠州、淡水の線に準備完了直ち  
に行動を開始途次二百乃至八百の敵に大小二十回に亘る  
攻撃を反覆、包圍を縮少—本日正午には國境三軒の地點  
に迫れり、敵の一部及避難民の多數は戎克に依り英租界  
に遁入せり、敵砲兵は東南方國境線に於て頑強に抵抗を  
續けたりしが我軍は英國租界なるを以て肉薄に次ぐ肉薄  
午後四時には租界地境に進出深圳附近に於て敵の大部を  
殲滅せり。英租界に遁入せる敵兵は英國官憲により武装  
解除せられ、こゝに殘敵は完全に掃蕩せられたり。

2. 空軍の活躍

【宜昌】(荊家口)(宜昌の對岸)—飛行場、軍需品倉庫、軍  
事施設爆撃

【宜鳳鎮】(浙贛線)—列車群爆撃

【衡陽】—飛行場、附屬建築物、軍需品倉庫爆撃

【浮梁】(赤岡)(河源)—敵の據點部落、軍事施設  
爆撃

(以下次號)

昭和十三年十二月九日印刷  
昭和十三年十二月十一日發行 (月三回發行)

### 臺灣總督府臨時情報部

臺北市榮町三丁目十五番地  
印刷人 加藤 豊吉

臺北市京町三丁目四十三番地  
印刷所 小塚本店印刷工場